

## 「10年後の私・20年後の私」の書式

(記入日：平成 年 月 日)

自分をよりよく生かすためには、まず自分自身をよく知ることが大切。自分の能力・適性や職業的な興味関心の傾向を知ること、自分の持っている能力を最大限に伸ばしていくことになる。10年後、20年後の自分像を探すことから進路選択を始めてほしい。

現在の  
(15歳)  
の私

a. 何をしていますか。

\_\_\_\_\_

b. 何をめざしていますか。...なぜですか。その理由は？

理由 \_\_\_\_\_

c. その実現のために、どんな努力をしますか。

\_\_\_\_\_

10年後  
(25歳)  
の私

a. 何をしていますか。...なぜそう思うのですか。

なぜ \_\_\_\_\_

b. 何をめざしていますか。...なぜですか。その理由は？

理由 \_\_\_\_\_

c. その実現のために、どんな努力をしているのでしょうか。

\_\_\_\_\_

20年後  
(35歳)  
の私

a. 何をしていますか。...なぜそう思うのですか。

なぜ \_\_\_\_\_

b. 何をめざしていますか。...なぜですか。その理由は？

理由 \_\_\_\_\_

c. その実現のために、どんな努力をしているのでしょうか。

\_\_\_\_\_

「進路」を「生徒の将来」と捉え、自分の職業や社会のどの分野で貢献するを考える「自分探しの旅」から、進路を志望させようという作文形式の入学後第1回の進路希望調査